

令和7年度 林業普及週間現地情報

森林管理課

八重山地域のたけのこ生産について(その2)

2月10日(火)

令和8年2月10日(火)、八重山農林水産振興センター職員は石垣島内のたけのこ生産者の竹林現場(リョクチク)で、たけのこを発生させるための親タケの管理について情報収集を行った。

リョクチクは地下茎から発筍し、春頃から初筍するタケであり、今の時期に親タケの選抜や地下茎の管理を行う必要がある。そのため、昨年たけのこを収穫した親タケから発筍した幼タケのうち、1本程度を子タケとして成長させ、今年はその子タケからの収穫を見込んで、親タケから発生している不要な地下茎&幼タケを取り除く作業を行っていた。

実際の作業を見せていただきながらタケの生育についてもご教授いただき、節ごとの葉の位置と地下茎の成長方向には関係があることや、良質なたけのこを収穫するための盛土&被覆管理についても作業を体験させていただいた。

今後も、八重山地域に限らず他のたけのこ生産者へアプローチをかけるなど、需要側と供給側について更なる情報や技術を収集し、八重山地域のたけのこ生産者をサポートしていきたい。



竹林現場



← 地下茎の除去作業



地下茎の説明 →

(報告者：八重山農林水産振興センター 比嘉、井口、砂川)